

使徒信条

われ てんち つくぬし ぜんのう ちち かみ しん
我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われ ひと こ われ しゅ
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
しゅ せいれい
主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみをうけ、十字架につけられ、
し ほうむ よみ
死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人の内よりよみがえり、
てん のぼ ぜんのう ちち かみ みぎ ざ
天に昇り、全能の父なる神の右に座したまへり。
かこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
われ せいれい しん せい こうどう きょうかい せいと まじ つみ ゆる
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、
からだ よみがえり、とこしえ いのち しん
身体のよみがえり、永遠の生命を信ず。 アーメン。

主の祈り

てん
天にまします我らの父よ。
ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国を来たらせたまえ。
み ころ てん
御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。
われ にちよう かつて きよう あた
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
われ つみ
我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、
われ つみ
我らの罪をもゆるしたまえ。
われ
我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。
くに ちからさかえ かぎ
国と力と栄とは、限りなく、なんじのものなればなり。 アーメン。

教会目的宣言文

私たちの教会は、人々をキリストに導き
神の家族の交わりへ迎え、神と隣人とな
仕える為に、彼らをキリストに似たもの
として整え、福音を伝える為に遣わし、
そして、まことの神に礼拝をささげる。

教会の五つの働き

| | |
|-----|--------------------|
| 礼 拝 | 礼拝の中で神をたたえる |
| 伝 道 | 福音を伝える為に遣わす |
| 交 往 | 神の家族の交わりへ迎える |
| 奉 仕 | 仕える事により神の愛を証する |
| 成 熟 | 神の民をキリストに似た者として整える |

週 報

2022年

1月1日

No. 1922

心を尽くし、思いを尽くし
力を尽くし、知性をつくして
あなたの神である主を愛せよ。
自分と同じように、あなたの隣人を愛せよ。
(ルカの福音書10章27節)



<https://mitaka-ch.jp/>



キリスト兄弟団 **三 鷹 教 会**

〒181-0012 三鷹市上連雀2丁目20-24

TEL/FAX 0422-45-0467

牧師 錦織(旧:平賀) 由理

Eメール: mitaka-ch@tc4.so-net.ne.jp

ホームページ: <https://mitaka-ch.jp/>

定期集会案内

主日礼拝 (日) 午前11:00~12:30

教会学校 (日) 午後10:00~10:30

祈祷会 (水) 午後1:30~2:30

元旦礼拝式順

| | | 司会 | 各 | 自 |
|-------|----------------------|-----|----|---|
| | | 奏楽 | | |
| | | 受付 | | |
| 招詞 | | 司会者 | | |
| 賛美 | 新聖歌 21 「輝く日を仰ぐとき」 1節 | 一 | 同* | |
| 信仰告白 | 使徒信条 | 一 | 同* | |
| 開式祈禱 | | 司会者 | | |
| 主の祈り | | 一 | 同 | |
| 賛美 | 新聖歌 143 「いとも尊き」 2節 | 一 | 同 | |
| 待望の祈り | | 一 | 同 | |
| 聖書 | コロサイ人への手紙2:7 (新403頁) | 司会者 | | |
| 説教 | 「キリストのうちに」 | 各 | 自 | |
| 祈禱 | | 一 | 同 | |
| 賛美 | 新聖歌339 「めぐみの高き嶺」 1節 | 一 | 同* | |
| 頌栄 | 新聖歌63 | 一 | 同* | |
| 主の祈り | | 一 | 同 | |

* 「*」 しるしはお立ちください。(立つのが辛い方は座ってください。)

教団標語「キリストのうちに根ざし、建てられ、教えられたとおり信仰を堅くし、あふれるばかりに感謝しなさい」 コロサイ2:7

教会標語「キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。」
Ⅱ テモテへの手紙2:1

メッセージ コロサイ2:7 「キリストのうちに」

新年あけましておめでとうございます。

昨年に続き、本年も同じみ言葉が教団の標語になりました。

①「根ざす場所」の大切さ

「根ざす」というと植物を思い出します。植物にとって土はとても大切です。教会の花壇の花も植え替えてしばらくすると白い斑点ができてよく病気になるてしまいます。その解決方法は、新しい土に入れ替えるとよいそうです。植物は、土から水分と養分を吸収します。土がカビなどで汚れていたり、養分がない状態ですと、そこに根を張っている植物は病気になったり、実や花が十分に育ちません。植物を育てる時、土に肥料で栄養を与え、必要に応じた水をやり、まず土から整えていくのです。

②私たちの「根ざす」とは

私たちは「根ざし」て何を吸収するのでしょうか。日々の食物からは栄養分を、学びや読者、メディアからは知識や思想、倫理や行動の動機などを吸収して人生の歩みを進めていきます。そのように考えると、どこに「根ざす」のかということはとても重要になります。今は情報があふれている時代です。多くの人は自分の「根ざし」たものに失望する経験があるのではないのでしょうか。世に氾濫している「根ざす土台」はとても乱れており、不安定な思想をもたらします。

③「根ざす」べき土台

コロサイ2:7では、「キリストのうちに根ざし」と教えています。聖書に「根ざし」キリストのうちに「根ざす」とき、「正しい信仰」という養分が与えられ、私たちの思想、行動が健全なものとなります。イエス様から健康な養分をいただいた私たちの結ぶ実、あふれるばかりの感謝です。そして、周りの人々への証となります。

近年は、ネット社会になり、思想の違いや、人の意見に影響されて誹謗中傷し、傷つけあう出来事が後を絶たない状況です。私たちは、キリストより教えらえる一人一人への神の愛を、思いや感情の土台にする者として新しい年の歩みをさせていただきましよう。